



昨年12月に行われた今城地区歳末防犯・防災大会

平成14年1月から4月の間に、豊原北島神社など今城地区で3件もの放火事件がありました。不安な日々を過ごす住民。みんなでまちを守らないといけないという声が、あちらこちらから聞こえてきました。夜間犯罪が懸念される真夏の時期、住民に安心と安全、犯罪の未然防止を目的に、今城コミュニティ協議会の会員がパトロールを実施することになりました。

7・8月の午後10時から最終赤穂線が通過する午前零時ごろまでの時間帯に、無人駅の大富駅を中心、今城地区内を車でパトロールしています。以前は、高校生や中学生の深夜徘徊がありました。今は平穏な状況が続いています。パトロール隊は、3~4人で1チームを作り、巡回警備を実施。地区警備日誌を作り、報告しています。

また、今城地区は、防犯・防災に力を注ぎ、毎年12月に今城地区歳末防犯・防災大会を開催しています。年末を前に、地域で防犯や防災に取り組もうと始まり、体验型の催しが盛りだくさんな内容です。『コミュニティの力で地域みんなの力で、犯罪のないまちにする』地域の皆さんのが一つになり、素晴らしい協力体制が確立しています。

PTA会員や児童の祖父母、地域の皆さんが、児童たちの安全や犯罪抑止のため、みんなで力を合わせ、自分たちにできることを実施することにしました。交差点で、交通安全のため交通指導をする人、毎日決まった場所で児童たちの安全のため見守りをする人と、その対応はさまざまです。

今城コミュニティ協議会

犯罪のないまちに



いつもパトロールしてくれてありがとうございます

PTA会員や児童の祖父母、地域の皆さんが、児童たちの安全や犯罪抑止のため、みんなで力を合わせ、自分たちにできることを実施することにしました。交差点で、交通安全のため交通指導をする人、毎日決まった場所で児童たちの安全のため見守りをする人と、その対応はさまざまです。



行幸小学校で行われた防犯教室
「こんにちは」「お帰り」と、帽子をかぶり見守つてくれます。

PTA会員や児童の祖父母、地域の皆さんが、児童たちの安全や犯罪抑止のため、みんなで力を合わせ、自分たちにできることを実施することにしました。交差点で、交通安全のため交通指導をする人、毎日決まった場所で児童たちの安全のため見守りをする人と、その対応はさまざまです。

鹿忍地区安全安心ボランティア隊が、4月に結成されました。牛窓西小学校PTAや老人クラブ、民生委員や各種団体の約100人が、隊員としてパトロールします。その出発式が、6月1日、牛窓西小学校で行われました。「児童の皆さん、自分の命は自分で守つてください。危険な所には行かないように。出かける時は、防犯ブザーを持つて、行き先を家族に伝えましょう。そして、みんなの力で犯罪のないまちにしていきましょう」横川日出子校長がいさつ。児童とボランティア隊、関係者約200人が、「みんなで、地域の安全を守っていこう」と気持ちを新たにしました。



安心なまちづくりをみんなの力で

ボランティア隊

鹿忍地区安全安心

きに、日常生活の一部として行うこと。犯罪の起こりにくいまちづくりの第一歩ではないでしょうか。

ボランティア隊員には、事前に児童の下校時間を周知。その時間に合わせ、隊員の帽子やたすきを身に付け見回りをします。できる人が、できるときには、できることをする。地域の皆さんのが、地域の子どもたちは、地域みんなで守つていこう。犯罪のないまちにします。うとする住民パワーが、大きな力を持っています。まち全体が、自主的な地域安全活動で犯罪を抑止し、住みよい地域社会を築いていきます。



すこやかハートランド
すこやかハートランドのメンバーは、子どもたちが凶悪な事件の被害者にならないよう、子どもの見守りや健全育成に努めています。毎月行っている「お帰りコール」は、地域の環境美化と青少年健全育成を目的に実施。第2金曜日に長船駅、第4水曜日に邑久駅で、駅に着いた電車から降りてきた人たちに、「お帰りなさい」と声を掛ける運動を展開しています。

また、瀬戸内市役所から邑久駅、ゆめトピアから長船駅までの道路脇のごみ拾い、清掃活動。



道路脇を清掃活動

に20~30人のメンバーが参加します。回数を重ねることに、「お帰りなさい」と声を掛けられた人たちから、笑顔が返ってくるようになりました。すこやかハートランドは、市内各幼稚園・小学校・中学校の推進委員さんや少年警察協助員の皆さんで組織する会で、平成元年7月に結成されました。「お帰りコール」以外にも、自転車盗難防止活動や街頭補導活動などを実施しています。

メンバーや地域の「地域の子どもたちを地域のみんなで見守り育てる」との思いが一つになり、活動を展開中。少年非行防止につながっています。

昨年12月、行幸小学校区で幸安全パトロール隊が、結成されました。隊員25人は、そろいの帽子をかぶり、児童の下校時の見守りなどを行います。

PTA会員や児童の祖父母、地域の皆さんが、児童たちの安全や犯罪抑止のため、みんなで力を合わせ、自分たちにできることを実施することにしました。交差点で、交通安全のため交通指導をする人、毎日決まった場所で児童たちの安全のため見守りをする人と、その対応はさまざまです。

また、行幸小学校では、児童が防犯や安全に関する意識を高めるため、防犯教室を行っています。不審者が出了した時の対処方法などを、警察署の指導を受け、体験型の学習を行いました。自分の身は自分で守ろうと、防犯ブザーを身につけ、登下校しています。

地域の皆さんの手で、自分たちにできることを、できると